



理念

1. 信頼される病院
2. 心温まる病院
3. 楽しく働ける病院

基本方針

- 地域における医療福祉の向上につとめ、地域住民のいのちと健康を守ります。
- 地域の中核病院として、地域の医療機関と連携・協調を図ります。
- 二次医療を中心に担当します。
- 医療需要の増大と多様化に対応できる病院づくりを目指します。
- 超高齢社会における治す医療と支える医療の両立を目指します。

新型コロナウイルス感染症によって浮き彫りになった 健康の社会的決定要因について

総合診療科 懸樋 英一

この度のコロナ禍で生物学的な健康問題だけでなく、不安やストレスなどによる精神的な問題や、雇用情勢の悪化などの社会的な問題が浮き彫りになっています。今回はこれらの問題によって鮮明化した、健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health:SDH)について書いてみたいと思います。

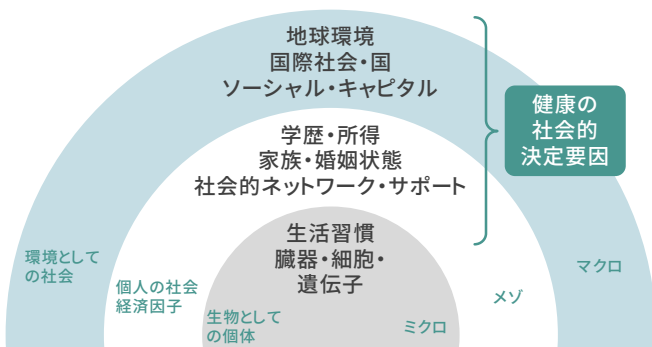
SDHとは、健康格差を生み出す政治的、社会的、経済的要因のことであり、個人に起因しない相互的・多層的な構造的な要因と言われています¹⁾。その構造には階層レベルがあり、生物・個体であるミクロレベル(臓器、個人等)、個人の社会経済因子であるメソレベル(家族、学校、職域等)、そして、環境・社会であるマクロレベル(地域、国、国際機関等)の階層があります(図1)。

病気と言うと、生まれ持った体質や遺伝子といった生物としての個体の要因によって決まると考えられがちです(ミクロ)。しかし、寿命を全うしない死亡において生物学的要因(ミクロ)による割合は30%程度に過ぎず、

生活習慣が40%(メソ)、残り30%は医療制度や社会状況、環境暴露(マクロ)などによると報告されています(図2)²⁾。生活習慣の形成でさえ、家庭環境や成育歴に影響されるので、社会的要因が一人ひとりの健康に与える影響は非常に大きいと言えます。

例えば、生活習慣病は個人の嗜好や意志の問題、すなわちは「自己責任」と思われがちです。また、治療が遅れて健康が損なわれた場合、その「原因」は受診の遅れであっても、その「原因の原因」には雇用や低収入、さらにその背景には社会の経済状況といった社会的要因が存在することもあります。SDHの視点では、「原因」にだけ着目するのではなく、より上流にある「原因の原因」にも着目する必要があると考えられています³⁾。

このような状況下で我々、保健医療従事者にできることは、心理社会的困難を抱える人たちに対し、非医学的な問題であっても相談に乗り、支援し、社会資源に繋げていくことだと思います。鳥取県東部圏域の皆様の健康のために、当院も努力していきたいと思っています。



近藤克則:健康格差社会への処方箋. 医学書院, p104, 2017を一部改変

図1. 健康の社会的決定要因

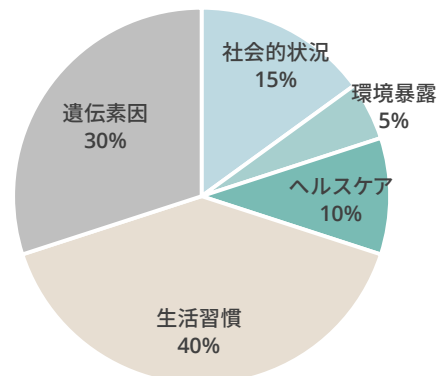


図2. 健康と早期死亡の決定要因

1) 武田裕子. 格差時代に医学教育で取り組む「SDH (Social Determinants of Health)」とは? 医学教育2019; 50: 415-420.
2) Steven A Schroeder. We can do better-improving the health of the American people. N Engl J Med 2007; 357: 1221-1228.
3) 近藤克則. 健康格差社会への処方箋. 2017, 医学書院, 東京.



当院で人間ドックを受けられる方へ

腹部超音波検査・心電図検査の場所を変更しています



従来、人間ドック等における腹部超音波検査および心電図検査は健診センター内で行っていましたが、令和2年5月からは一部運用変更に伴い、腹部超音波検査・心電図検査の部屋を中央検査部の生理検査室に変更しております。

腹部超音波検査・心電図検査を受けられる方には、検査場所が遠くなってしまい大変ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

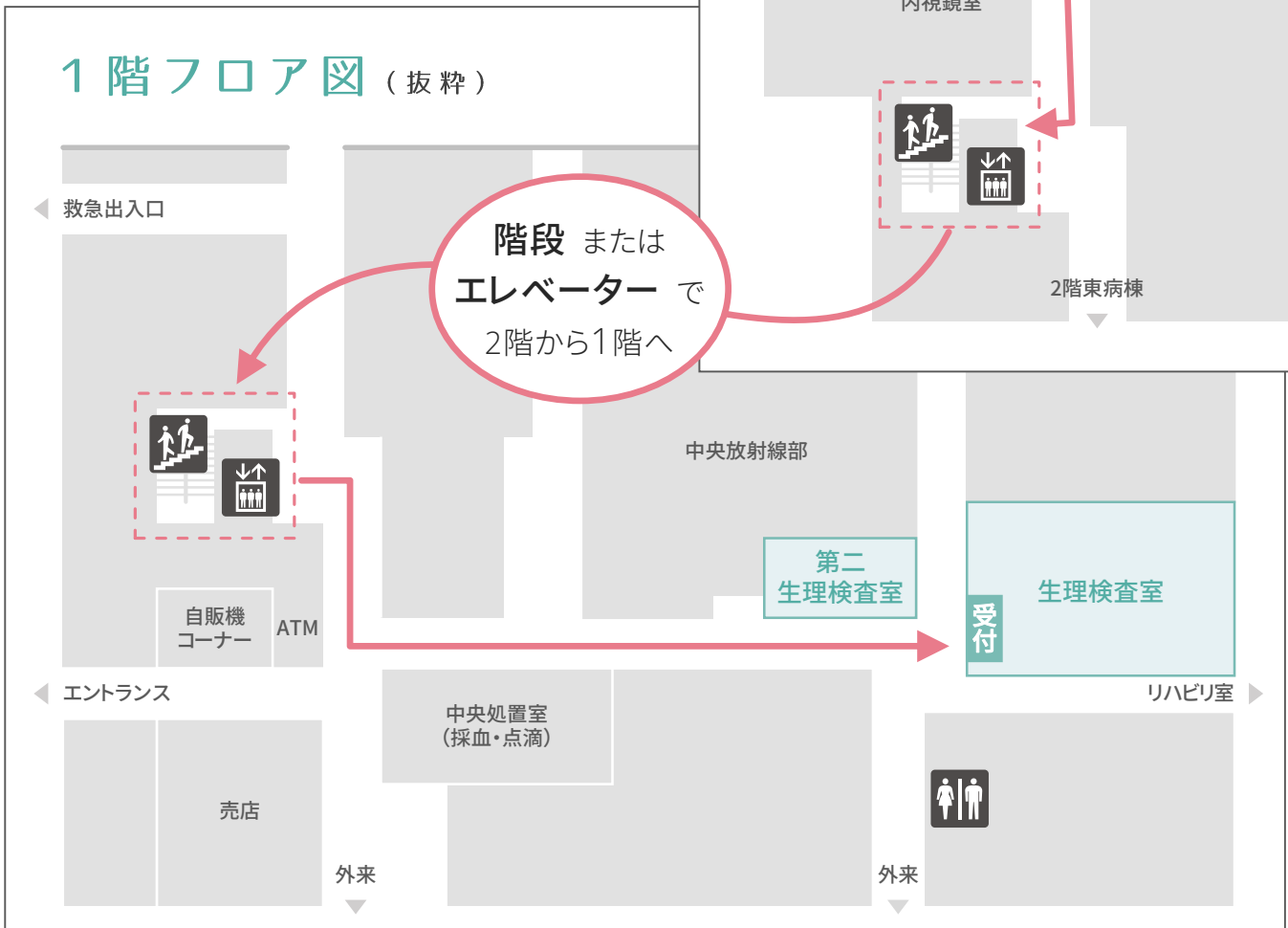
健診センター

→ 生理検査室 順路



4

1階フロア図 (抜粋)



動画を公開しています 

この時期における市民医療講演会について

当院では、毎月1回程度のペースで市民医療講演会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、同じ場所に多くの方が集まることから、市民の皆さまの健康が害される可能性があることから、令和2年2月の講演会から開催を見合わせています。

この間、市民の皆さまの健康づくりに寄与できる情報を何か発信できないか検討した結果、講演内容をケーブルテレビによる放送や動画配信サービスを通して市民の皆さまにご視聴いただけるようにいたしました。

スタジオで撮影した医療従事者の講演をケーブルテレビ(いなばぴよんぴよんネット)で放送し、放送後は動画配信サイトYouTubeで公開いたします。YouTubeに現在、新たに3本の動画を公開して

います。また、過去に開催した市民医療講演会の様子も公開しておりますので、どうぞご覧ください。

今後、新たな講演動画の公開や、従来の講演会形式での開催等のお知らせはホームページでお知らせいたします。




スタジオ撮影の様子(いなばぴよんぴよんネット6月16日放送分)

第68回 市民医療講演会 講演内容



講演1
アフターコロナを生きる
～新しい生活様式とフレイル対策～
総合診療科 診療部長 懸樋 英一



講演2
自宅で行えるフレイルの予防運動
理学療法士 大河原 隆二



講演3
鳥取市立病院における
新型コロナウイルス感染症対策
感染管理認定看護師 西山 知子


鳥取市立病院 YouTubeチャンネル アクセス方法

【検索サイトから】
検索サイト、もしくは、YouTubeで「鳥取市立病院」を検索。

 鳥取市立病院

ホームページ 【当院HPから】

当院ホームページの右側下部(スマホの場合は最下部)の「リンク集」バナーをクリック

 リンク集

「鳥取市立病院チャンネル」をクリック